

利益相反の自己申告書（2024 年度）

記入例を赤字で示しています。実際の書類は黒字で記入をお願いします。

りんくう総合医療センター理事長 殿

申告者氏名： りんくう 太郎

所属部署・職名： 利益相反委員会・記入例係

記入日： 2024 年 4 月 30 日

2024 年 3 月 31 日より遡って過去 1 年に関して、申告者の利益相反の有無は以下のとおりです。
(該当する方に☑を入れてください)

☐ なし (以上で終了です)

(大半の方は上記 ☒ なし にチェックいただき終了です)

☒ あり (次頁以降の表に該当事項を記載してください)
(こちらにチェックいただいた場合は 2、3 ページも記載してください)

(2024年3月31日より遡って過去1年分のCOI状態を申告)

項目	対象	企業名などを記載
① 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職などの有無と報酬 (1つの企業・団体から年間100万円以上のものを記載)	(本人)	A 製薬
	(親族*)	
② 株の保有と、その株式から得られる利益 (1つの企業の1年間の利益が100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)	(本人)	
	(親族*)	B 薬品、C 株式会社
③ 企業や営利を目的とした団体から特許使用料として支払われた報酬 (1つにつき年間100万円以上のものを記載)	(本人)	D 株式会社
	(親族*)	
④ 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席(発表)に対し、研究を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料など (1つの企業・団体からの年間合計100万円以上のものを記載)	(本人)	
⑤ 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料 (1つの企業・団体から年間合計100万円以上のものを記載)	(本人)	E 出版社
⑥ 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費(委託受託研究、共同研究)など (1つの企業・団体から支払われた総額が年間200万円以上のものを記載)	(本人)	

⑦ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学寄付金（奨励寄付金）などの有無 (1つの企業・団体から支払われた総額が年間200万円以上のものを記載)	(本人)	F 製薬
⑧ 企業や営利を目的とした団体が提供する寄付講座 (企業などからの寄付講座に所属している場合に記載)	(本人)	G 株式会社
⑨ 研究とは無関係な旅行、贈答品など (1つの企業・団体から年間5万円以上のものを記載)	(本人)	

⑥、⑦については、申告者個人か、申告者が所属する部局などへ研究成果の発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業や団体などからの研究経費、奨学寄付金などの提供があった場合に申告する必要がある。

*：親族とは、「申告者本人と生計を一にする配偶者、または申告者と生計を一にする一親等の者（両親及び子ども）」を指す。